



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月8日

上場会社名 はごろもフーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2831 URL <https://www.hagoromofoods.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 佐恵子
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 経営企画本部長 (氏名) 川隅 義之 TEL 054-288-5200
 四半期報告書提出予定日 2022年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	17,760	2.3	367	△56.3	521	△47.5	357	△62.0
2022年3月期第1四半期	17,363	0.9	840	△33.3	993	△30.6	941	△3.2

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 146百万円 (△84.2%) 2022年3月期第1四半期 928百万円 (△17.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	38.01	—
2022年3月期第1四半期	100.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	62,820	34,842	55.5	3,702.47
2022年3月期	61,231	34,930	57.0	3,711.85

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 34,842百万円 2022年3月期 34,930百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2023年3月期	—				
2023年3月期 (予想)		25.00	—	25.00	50.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	35,000	△1.0	900	△55.3	1,100	△49.9	800	△55.9	85.01
通期	68,000	△0.7	1,500	△33.9	1,800	△29.5	1,200	△40.3	127.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期1Q	10,325,365株	2022年3月期	10,325,365株
2023年3月期1Q	914,754株	2022年3月期	914,754株
2023年3月期1Q	9,410,611株	2022年3月期1Q	9,410,745株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があり、業績の進捗に応じ予想を修正することがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
3. 2023年3月期第1四半期決算短信(連結)補足説明	9
(1) 売上高・利益の増減要因等	9
(2) 販売費及び一般管理費の内訳	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の制限が、ワクチン接種の進展等により緩和しました。一方でロシアによるウクライナ侵攻に起因した国際的な原油および穀物相場高騰の影響や、為替相場の急激な変動により先行き不透明な状況が続きました。

食品業界においては、コロナ禍による健康志向や内食需要の高まりが継続するとともに、行動制限の解除等により外食需要も回復基調にありましたが、一方で原材料やエネルギー価格の高騰による製品価格の改定が続きました。

このような中、当社グループは、中期経営計画の優先課題である信頼感・安心感のある「はごろも」ブランドの確立に取り組み、消費者目線に立った健康志向や簡便性、利便性といった機能性を追求した製品の販売に注力しました。合わせて、販売促進活動の一つである「シーチキン食堂」のテレビコマーシャルと連動したメニュー提案により、さらなる需要喚起に努めました。また、販売が伸長しているデザートにおいて「朝からフルーツでモーニンググルーティン」のWEB限定のコマーシャル動画を公開し、新たな販売促進活動を通して新規ユーザーの獲得を図りました。一方で原材料価格の高騰に伴い、昨年度後半からパスタやフルーツ・コーン等の価格改定を実施しました。

この結果、家庭用製品の販売はコロナ禍で増加した内食需要の継続と、業務用製品の販売での各種給食やコンビニエンスストア向けの需要の回復等により増加し、当連結累計期間の売上高は177億60百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

利益面では、各種原材料価格や燃料費の高騰に伴う売上原価率の上昇により、営業利益は3億67百万円（同56.3%減）、海外関連会社の持分法による投資利益が減少したこと等により、経常利益は5億21百万円（同47.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億57百万円（同62.0%減）となりました。

なお、当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っていないが、製品群別の販売動向は以下のとおりです。

表：製品群別売上高（連結）

（単位：千円、%）

製品群		前年同期		当第1四半期		増減		
		金額	構成比	金額	構成比	金額	率	
製品	家庭用食品	ツナ	7,794,498	44.9	7,996,328	45.0	201,829	2.6
		デザート	1,404,109	8.1	1,434,813	8.1	30,703	2.2
		パスタ&ソース	1,466,428	8.5	1,473,006	8.3	6,577	0.4
		総菜	1,748,308	10.1	1,682,265	9.5	△66,043	△3.8
		削りぶし・のり・ふりかけ類	885,729	5.1	857,231	4.8	△28,498	△3.2
		ギフト・その他食品	667,052	3.8	665,250	3.8	△1,801	△0.3
		計	13,966,127	80.5	14,108,894	79.5	142,767	1.0
	業務用食品	2,869,094	16.5	3,080,265	17.3	211,170	7.4	
	ペットフード・バイオ他	423,310	2.4	476,898	2.7	53,587	12.7	
	計	17,258,532	99.4	17,666,058	99.5	407,526	2.4	
その他	104,917	0.6	94,133	0.5	△10,783	△10.3		
合計	17,363,449	100.0	17,760,192	100.0	396,742	2.3		

「ツナ」では、油漬缶詰はコロナ禍での需要拡大が一服したことから苦戦しましたが、高たんぱく・低脂質・低糖質という健康面を訴求した「オイル不使用シーチキン」シリーズや、開けやすく後片付けに便利なパウチタイプの「シーチキンSmile」シリーズが好調で、売上高は前年同期比2.6%増加しました。

「デザート」では、コロナ禍でフルーツ製品の利便性が改めて支持され、キャンペーンを実施した「朝からフルーツ」やみかん缶詰、「甘みあっさり」等のフルーツパウチが好調で、売上高は同2.2%増加しました。

「パスタ&ソース」では、パスタはデュラム小麦粉の高騰等による価格改定を実施した影響で苦戦しましたが、コロナ禍でパスタの利便性が認知されていること等により結束タイプのスパゲッティや「サラspa」が堅調でした。ソースはパウチタイプの「おさかなでPASTA」シリーズが伸長し、売上高は同0.4%増加しました。

「総菜」では、さば・さんま・いわし等の青魚パウチ製品が好調でしたが、価格改定を実施した調理素材品や「シャキッとコーン」シリーズが低調で、売上高は同3.8%減少しました。

「削りぶし・のり・ふりかけ類」では、花かつおや混ぜご飯シリーズ等は好調でしたが、削りぶしや味付のりの販売が低迷し、売上高は同3.2%減少しました。

「ギフト・その他食品」では、電子レンジで簡単に調理可能な包装米飯「パパッとライス」が引き続き好調でしたが、ギフトは贈答品市場の回復が進まず、売上高は同0.3%減少しました。

「業務用食品」では、各種給食やコンビニエンスストア向けの需要が順調に回復したこと等により、売上高は同7.4%増加しました。

「ペットフード・バイオ他」では、引き続きペットフード市場の拡大により、新製品を投入した添加物不使用のペットフード「無一物」シリーズが好調で、売上高は同12.7%増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の内容

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より15億88百万円増加して、628億20百万円となりました。これは主に、商品及び製品が5億64百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が5億32百万円ならびに原材料及び貯蔵品が4億52百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末より16億76百万円増加して、279億77百万円となりました。これは主に、未払金が19億38百万円、未払法人税等が3億48百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が22億38百万円ならびに流動負債のその他が18億42百万円増加したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末より88百万円減少して348億42百万円となりました。これは主に、利益剰余金が1億22百万円、為替換算調整勘定が1億4百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が3億69百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の57.0%から55.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の第2四半期累計期間および通期連結業績予想については、2022年5月13日の発表から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,533,831	3,210,060
受取手形、売掛金及び契約資産	18,378,269	18,910,459
商品及び製品	9,006,839	9,571,223
仕掛品	65,707	112,023
原材料及び貯蔵品	2,449,198	2,901,488
その他	2,153,594	2,254,109
貸倒引当金	△2,738	△2,226
流動資産合計	35,584,701	36,957,139
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,389,226	7,278,967
土地	3,487,847	3,487,847
その他(純額)	4,465,524	5,255,078
有形固定資産合計	15,342,598	16,021,893
無形固定資産	409,223	386,666
投資その他の資産		
投資有価証券	8,799,459	8,399,454
退職給付に係る資産	566,861	531,326
その他	531,970	526,976
貸倒引当金	△3,250	△3,295
投資その他の資産合計	9,895,041	9,454,461
固定資産合計	25,646,863	25,863,021
資産合計	61,231,564	62,820,161
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,568,861	14,806,985
1年内返済予定の長期借入金	482,688	482,688
未払金	5,646,898	3,708,238
未払法人税等	516,321	167,488
賞与引当金	396,438	589,697
その他	916,612	2,758,890
流動負債合計	20,527,820	22,513,989
固定負債		
長期借入金	3,198,853	3,124,681
役員退職慰労引当金	812,198	722,349
退職給付に係る負債	12,502	12,533
その他	1,749,399	1,604,140
固定負債合計	5,772,953	5,463,705
負債合計	26,300,774	27,977,694

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,669	1,441,669
資本剰余金	942,527	942,527
利益剰余金	30,630,426	30,752,863
自己株式	△2,163,143	△2,163,143
株主資本合計	30,851,480	30,973,917
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,820,843	3,451,067
繰延ヘッジ損益	188,406	240,804
為替換算調整勘定	△43,492	61,404
退職給付に係る調整累計額	113,551	115,273
その他の包括利益累計額合計	4,079,309	3,868,550
純資産合計	34,930,790	34,842,467
負債純資産合計	61,231,564	62,820,161

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	17,363,449	17,760,192
売上原価	13,253,870	14,151,454
売上総利益	4,109,579	3,608,738
販売費及び一般管理費	3,269,071	3,241,467
営業利益	840,507	367,270
営業外収益		
受取利息	0	5
受取配当金	96,326	109,305
持分法による投資利益	28,717	18,254
仕入割引	9,560	9,985
賃貸料収入	17,264	16,998
その他	15,711	15,089
営業外収益合計	167,579	169,638
営業外費用		
支払利息	3,559	3,164
賃貸収入原価	7,772	7,230
その他	3,389	4,866
営業外費用合計	14,721	15,261
経常利益	993,365	521,646
特別利益		
固定資産売却益	5,741	95
補助金収入	349,041	—
特別利益合計	354,782	95
特別損失		
貸倒引当金繰入額	54	45
固定資産除却損	1,334	272
固定資産売却損	—	2,757
特別損失合計	1,388	3,075
税金等調整前四半期純利益	1,346,759	518,667
法人税等	404,816	160,965
四半期純利益	941,942	357,702
親会社株主に帰属する四半期純利益	941,942	357,702

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	941,942	357,702
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△96,289	△369,775
繰延ヘッジ損益	△40,021	52,397
退職給付に係る調整額	1,279	510
持分法適用会社に対する持分相当額	121,626	106,107
その他の包括利益合計	△13,404	△210,759
四半期包括利益	928,537	146,942
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	928,537	146,942
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の決算短信の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り)の記載から重要な変更はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

3. 2023年3月期 第1四半期決算短信(連結) 補足説明

(1) 売上高・利益の増減要因等

(単位: 百万円、%)

	前年同期		当第1四半期		前年同期比		前年同期比増減要因等
	金額	率	金額	率	金額	率	
売上高	100.0 17,363		100.0 17,760		396	102.3	販売函数 製品群別売上高 ・ツナ +201百万円 +2.6% ・デザート +30 +2.2 ・総菜 △66 △3.8 ・削りぶし・ のり・ふりかけ類 △28 △3.2 ・業務用食品 +211 +7.4 ・ペットフード・ バイオ他 +53 +12.7
売上原価	76.3 13,253		79.7 14,151		897	106.8	・売上原価率 +3.4ポイント
売上総利益	23.7 4,109		20.3 3,608		△500	87.8	
販売費及び 一般管理費	18.9 3,269		18.3 3,241		△27	99.2	・販売奨励金 +124百万円 +24.1% ・広告宣伝費 △126 △32.1 ・荷造運賃・保管料 +29 +3.4 ・研究開発費 △18 △23.0
営業利益	4.8 840		2.1 367		△473	43.7	
営業外損益	0.9 152		0.8 154		1	101.0	・持分法による投資利益 △10百万円 ・受取配当金 +12
経常利益	5.7 993		2.9 521		△471	52.5	
特別損益	2.1 353		△0.0 △2		△356	-	前期・補助金収入 349百万円計上 ・固定資産売却益 5
税金等調整前 四半期純利益	7.8 1,346		2.9 518		△828	38.5	
法人税等	2.4 404		0.9 160		△243	39.8	
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	5.4 941		2.0 357		△584	38.0	
設備投資額	732	1,075	343	146.9	無形固定資産含む		
減価償却費	403	415	11	102.9	無形固定資産分含む		

(2) 販売費及び一般管理費の内訳

(単位: 百万円、%)

	前年同期	当第1四半期	増減額	前年同期比
販売奨励金	515	639	124	124.1
広告宣伝費	393	267	△126	67.9
荷造運賃・保管料	885	914	29	103.4
給料・賞与(引当金繰入額含む)	505	503	△2	99.6
退職給付費用	35	36	1	102.8
研究開発費	78	60	△18	77.0
その他	855	819	△35	95.8
合計	3,269	3,241	△27	99.2